

平成26年度 新潟市 TA ジュニア関東遠征 報告書

期 日	平成26年12月23日(火)～27日(土)
会 場	立川ジュニアテニスアカデミー ピーナッツカップ 各試合会場 (富勢運動公園 ほか)
引 率	藤田 悠輔 (23日～26日) 吹上 新悟 (25日～27日)
選 手	内山 照英(ジャンボ) 沼野 菜海(ジャンボ) 平田 知己(ジャンボ) 浜田 果菜子(ジャンボ) 佐々木 康大(ジャンボ)
工 程	1日目 (23日) 新幹線にて大宮へ→在来線に乗り換えて立川へ その後モノレールに乗り換え、立川 JTA へ。12時過ぎに到着 午後からオムニ・ハード両コートでゲーム練習 S・D 織り交ぜて17時ごろ終了 夕食・ミーティング・シャワーの後、就寝 2日目 (24日) 立川にて練習。午前は基礎練を中心に、午後はゲーム練習 この日から岩手ジュニアチームや福井ジュニアチームなども参加 3日目 (25日) U12(内山・佐々木) U14(沼野・平田)は試合のため会場へ。 この日は各カテゴリーともシングルスで U14 の 2 人は予選敗退 U12 の内山・佐々木は両者とも予選通過。本戦へと駒を進めた 練習のみの浜田は立川に残って練習 4日目 (26日) 決勝へ駒を進めた U12 も 2 人はこの日がシングルス本戦 1～2 R 佐々木は 1R 勝利したものの、内山は 1 R 敗退。 両選手とも第 2 シード上野山大洋(上野山 TC)に敗れる結果となった。 立川に残っているメンバーは、午前の練習後、 荷物をまとめて、在来線と新幹線で新潟へ 18 時過ぎに新潟到着 5日目 (27日) U12(内山佐々木ペア)のダブルス。結果は 1 R 敗退であった。

引率コーチより

藤田 悠輔 (ジャンボ ITS)

新潟では強風や大雪があつて、1～2週間ほどみられなかった青空であつたが、関東では真っ青な世界が広がっていた。爽やかな冬晴れのもとで、選手たちは終始楽しそうに過ごしていた。今回は岩手県や福井県などからもジュニアが参加しており、他県の選手とも交流ができたので、子供たちはとても刺激的なものになったのではないだろうか。

困るという経験をすることはとても大事である。大宮に着くと、選手の1人に先導を任せ後ろから見守ることにした。何人かは去年も参加しており、仲間と協力しながら無事に宿舎にたどり着くことができた。帰りも同様に着いていったところ、電車を乗り間違えたりするハプニングもあり、選手達はとても良い経験になったと思う。

4日間のうち1日は大会引率で千葉へ向かった。ピーナツカップはとにかく規模が大きいため、選手が自身の時間管理をきちんと行えるかはポイントになってくる場所であった。選手の中には、見知らぬ土地で全く知らない大会会場へ行かなければならないため、たどり着く頃には受付時間ギリギリのケースも見られた。一方で準備してきた選手は、ほぼ予定した時間に到着しウォームアップを始めることができた。この両ケースの差は試合内容にも直結しており、普段から事前準備を怠らないことが大切である。

立川の練習では、“このミスはどうして起きてしまったのか、振り返って考えてみる”ということをメインテーマに、土屋コーチをはじめとする立川 JTA のスタッフに指導いただいた。自身も選手ながら、立川 JTA のジュニア A チームを指導しているロンギ正幸プロからも指導を受け、普段あまり指導を受けることのない現役トッププロからの指導は、選手だけでなくコーチとしても学ぶことが多かった。

今回の遠征は、私自身にとっても貴重な経験になり、新潟市ジュニアチームを受け入れてくださった土屋コーチをはじめとする立川 JTA のスタッフの皆様、引率者として指名していただき、事前指導いただいた新潟市テニス協会 Jr.委員会の皆様、共に引率していただいた吹上コーチ、サポートしていただいた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。機会があればより多くのジュニアにこの合宿に参加していただき、テニスだけでなく、人として成長して帰ってきてほしいと思います。

以下、今回の合宿に参加したジュニアのレポートを掲載いたします。